

◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：彩の国環境大学修了生の会

24A-09

代表者：代表理事・会長 原 芳彦

URL : sai-syuryosei.eco.coocan.jp/

1. 活動が必要とされた状況

当会は、埼玉県が埼玉県環境科学国際センター（CESS・加須市）で毎年開催している「彩の国環境大学」を修了した有志が、学んだ知識や経験を活かした環境活動を行うことを目的として1998年3月に設立された環境団体です。これまで、会全体として、また、4つの部会（地球温暖化防止、化学物質、生活循環資源、自然環境・教育部会）として、様々な活動に取り組んできました。コロナ禍でしたが、自然環境部会では、親子を対象とした野外での自然観察会を主催もしくは協力参加（自然観察指導員）しています。特に、子どもたちに自然の素晴らしさを認識してもらうために、自然観察のハンドブックがあれば、野鳥・植物・川魚・昆虫などに興味を持ち、観察会に参加してもらえと考えました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）*コロナ禍で多くのイベント中止

(1) CESS 夏休み特別展示 7月17日～8月12日（CESS 2F 学習室）

〈参加内容〉展示ボード3基（A1ポスター等）&活動パンフ・冊子等

〈来場人数〉約100人/日 説明員無しの展示でしたが、活動フォトが多く好評でした。

〈活動資料置き場コーナー〉特に自然観察ガイド冊子は子供たちに好評で補充400冊

(2) 親子の自然観察会 9月19日（日）“見てみよう、感じてみよう秋のCESS生態園”

〈参加人数〉午前・午後の部 親子22人、会員（観察会指導）9人 計31人

(3) 主催・共催等のイベントでのガイドブックの配布・紹介

①10/2 イオンチアーズクラブ②12/12 SDGs エコフォーラム

③1/29 フォローアップ講座

(4) 自然観察ガイド冊子 2000部を2年で配布

〈配布先〉観察会・イベント参加者、行政関係者等



写真1：夏休み特別展示会

3. 活動の成果

(1) 自然観察会で活用

①事前予約参加の親子対象に1冊/親子に配布・使用。

参加者皆が首から吊るし、対象を見ながら現物と確認。

②同伴の親たちから、構成等もとても良いと好評でした。

(2) 当会の催し物・行事及び他団体と一緒にフェス等参加

①自主制作ガイドブックを通して当会活動を紹介できる。

②講演会や展示会で様々な分野の人達と意見・情報交換。

(3) 新規会員への入会勧誘とツール・機会

①昨年度までは入会説明に苦戦、今年度は手応えがありそう。



写真2：9月の自然観察会

4. 今後に残された課題

(1) 環境団体への加入年齢も高まり、新会員加入も苦戦。

働きながら一緒に活動できる仕組み・体制づくりが必要。

(2) 地域、特に小中学校への環境学習に役立つ人材育成や現会員のスキル向上・活動ツール充実を図る必要あり。



写真3：イオンチアーズクラブ公園観察会